

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
出前講座		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	依頼のあった学校や企業、各種団体へ多賀城の歴史を伝えるため、相手方に出向き講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平安貴族の遊び(ハマグリの絵付け)などの出前講座を実施した。 出前講座受講者数:31名 (新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度よりも大幅に減少)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
出前講座の様子			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

文化財調査
 国・都道府県・市町村による文化財指定
 保存管理(活用)計画の策定・見直し

実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容 未指定の文化財が多数あることから、価値付けするための調査を実施し、その結果学術的な価値が認められた場合には、指定等の措置を図る。これらの文化財を保存活用するためには「歴史文化基本構想」策定などの基本構想を策定する必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財調査

(調査期間 平成25年度～令和2年度)

・令和2年度は、平成31年度に引き続き、市川・浮島地区の歴史遺産について総合的な調査を実施するとともに、南宮・山王地区の調査報告書を刊行した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



浮嶋神社のしめ縄づくりの様子



陸奥総社宮例大祭の内部の様子

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財に関する事業(修理・整備・復元等) 文化財の保存・活用を行うための施設に関する事業 文化財の周辺環境に関する事業 文化財の防災に関する事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
文化財の修理(整備)は、詳細な調査を実施するとともに、文化財の価値を明確にし、必要に応じ専門家や学識経験者の意見を踏まえて維持向上を図っていく。
特別史跡多賀城跡附寺跡第3次保存管理計画のもと、整備を実施していく。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の防災に関する事業(埋蔵文化財調査センター及び消防署)
・3月18日に多賀城史遊館において、通報連絡訓練、初期消火訓練、来館者の安全確保・避難誘導訓練、要救助者等の検索訓練及び消防設備等の点検を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



多賀城史遊館での避難訓練の様子

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
文化財に関する普及・啓発の取組 民間団体への助成・支援 民間団体と連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 各機関と連携を図りながら各種講座、講演会、現地説明会等を実施し、文化財の周知に努め、文化財保護の普及啓発を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財に関する普及・啓発の取り組み
 - ・速報展「発掘された遺跡」を開催 入館者：186名 開催期間：令和2年6月16日～7月28日
 - ・多賀城市遺跡調査報告会を開催 定員：30名 開催日：令和2年6月27日(土)
 - ・企画展「多賀城碑が映す古代東北と北方世界」を開催 入館者数：789名
開催期間：令和2年10月3日～12月20日
記念講演「多賀城碑とその時代」 令和2年10月25日 参加者：203名
 - ・資料展「地域の文化財展－留ヶ谷・高崎・田中村－」を開催 入館者数：535名
開催期間：令和3年1月10日～3月14日
- 学校と連携した多賀城鹿踊(市内唯一の民俗芸能)の継承に関する取組み
 - ・八幡小学校の総合的な学習の時間で多賀城鹿踊の歴史を学習し踊り方を練習
参加児童人数：3年生51名 計2回
 - ・体育館で練習成果の発表(児童及び保存会の担当のみ)
- 民間団体への助成・支援
 - ・多賀城鹿踊保存会、多賀城太鼓保存会への助成。
- 民間団体等と連携・協力した取組
 - ・多賀城跡歴史的体験学習事業を城南小学校と協働で実施
 - ・多賀城市教育委員会文化財課、多賀城史遊館ボランティアの会、多賀城市史跡案内サークルで多賀城市文化遺産活用活性化実行委員会を組織し、多賀城の歴史に関わる小冊子「多賀城旧13か村を巡る歴史散歩」を発行した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、以下の事業中止
 - ・市内の史跡や文化財等を巡る「駅長オススメの小さな旅」
 - ・歴史体験まつり(開催場所：三陸自動車道春日パーキングエリア)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

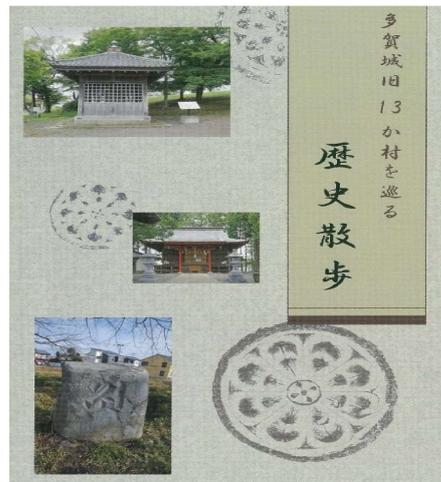
状況を示す写真や資料等



多賀城鹿踊の披露(多賀城八幡小学校)



歴史体験まつりの様子
(三陸自動車道春日パーキングエリア)



小冊子
「多賀城旧13か村を巡る歴史散歩」

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
政庁跡発掘「辺境」覆す	令和2年5月8日	河北新報
多賀城南門復元へ始動 起工式	令和2年6月8日	河北新報、読売新聞
古代多賀城へ思いはせる	令和2年7月9日	河北新報
【歴史的食文化体験学習】蕎麦の種まき	令和2年7月22日	TBC東北放送
【歴史的食文化体験学習】古代米の刈取り	令和2年10月14日	河北新報
多賀城跡で平安期の白磁	令和2年10月16日	河北新報
【TV放送】水バラ ローカル路線バス陣取り対決旅(山形～宮城)	令和2年11月18日	テレビ東京
多賀城市補正予算案 南門復元など	令和2年12月3日	河北新報
古代東北に思いはせて	令和2年12月15日	河北新報
トンボ玉作り 児童らが夢中	令和3年1月12日	読売新聞
万葉の美 生涯懸け追う	令和3年1月15日	河北新報
【資料展】地域の文化財 留ヶ谷・高崎・田中村	令和3年1月30日	宮城ケーブルテレビ

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

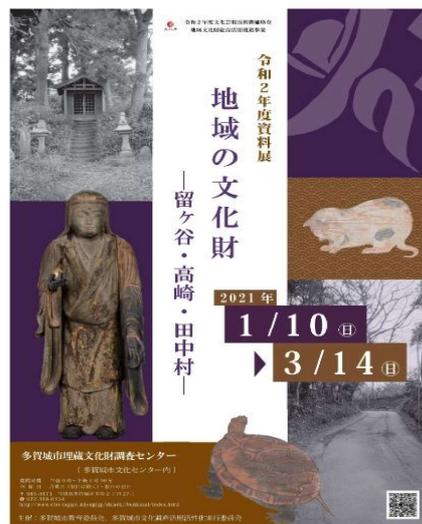
状況を示す写真や資料等



6月8日関連(起工式)



11月18日関連(TV放送 水バラ)



1月30日関連(資料展)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

「歴史の風」(広報多賀城)での紹介

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成23年7月から市の広報紙で、多賀城の歴史を紹介する「歴史の風」という記事を掲載しており、令和2年度は市内文化財調査(歴史遺産調査)成果のうち、南宮・山王地区について計12回掲載したほか、多賀城創建1300年に向け着手した南門等復元工事について、「多賀城南門復元の今」と題して工事の最新情報を毎月発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

連載・多賀城創建1300年に向けて
多賀城南門復元の今

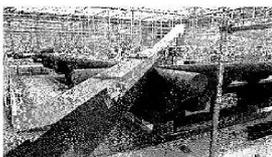
第11回 隅木

図文化財課内線571

初重斗拱の上部四隅に、巨大な隅木が設置されました。

太さ27センチ×31センチ、長さが7.3メートルある地隅木と、太さ27センチ×29センチ、長さが3.9メートルある飛檐隅木が連結し、建物の四方に張り出しています。

この隅木の上に、野地板と呼ばれる屋根の板材が上がると、初重部の組立がおおむね完成します。



隅木

連載・多賀城創建1300年に向けて
多賀城南門復元の今

第12回 古代の瓦再現

図文化財課内線571

奈良県生駒郡にある瓦工房で、多賀城南門に葺く瓦が製作されています。

今回は“生型”と呼ばれる焼成前の段階の製品検査を行いました。

瓦の製作は、考古学の成果を基に、当時用いられたと思われる道具や作業工程を研究しながら進めています。

発掘調査で出土した1300年前の瓦が、現代の瓦職人の手により、再現されるのは間もなくです。



多賀城の瓦に刻まれている模様も、忠実に再現されています

連載・多賀城創建1300年に向けて
多賀城南門復元の今

第8回 見学会を開催しました

図文化財課内線571

岩手県遠野市で加工された柱が、ようやく多賀城に運び込まれ、南門の組立が開始しました。

10月10日には、南門復元工事の見学会を開催し、およそ100人が参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策により、人数を制限した開催となりましたが、見学した方は、一様に南門の巨大さに感動していました。

会場では、併せて古代瓦の型取り体験や、宮大工による槍鉋(やりがんな)の加工実演も行い、訪れた人に古代の建築技法の妙を体感してもらいました。



見学会の様子
人と比べると、南門がいかに大きいかが分かります。

広報誌掲載の記事

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第12・13回多賀城市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和2年11月22日～12月3日、令和3年2月22日～3月8日	
(コメントの概要) ・多賀城南門復元及び周辺整備によって一体的な整備が進んだ後、1300年記念事業が行われることになるが、コロナの影響を踏まえたうえで、多様な交流が生まれるよう取り組んでもらいたい。 ・板倉などの歴史的風致形成建造物をこれまで以上に積極的に指定し、多賀城固有の資産として保存するようにしてもらいたい。 ・景観形成に向けた取組みは、地元住民としっかり意見交換を行って、実現に向けて取り組んで欲しい。	
(今後の対応方針) 今後も多賀城市歴史的風致維持向上協議会を開催し、意見等を確認・共有しながら、第2期計画の取組み等に関して、さらに精度の高い施策の推進に努めていきたい。	